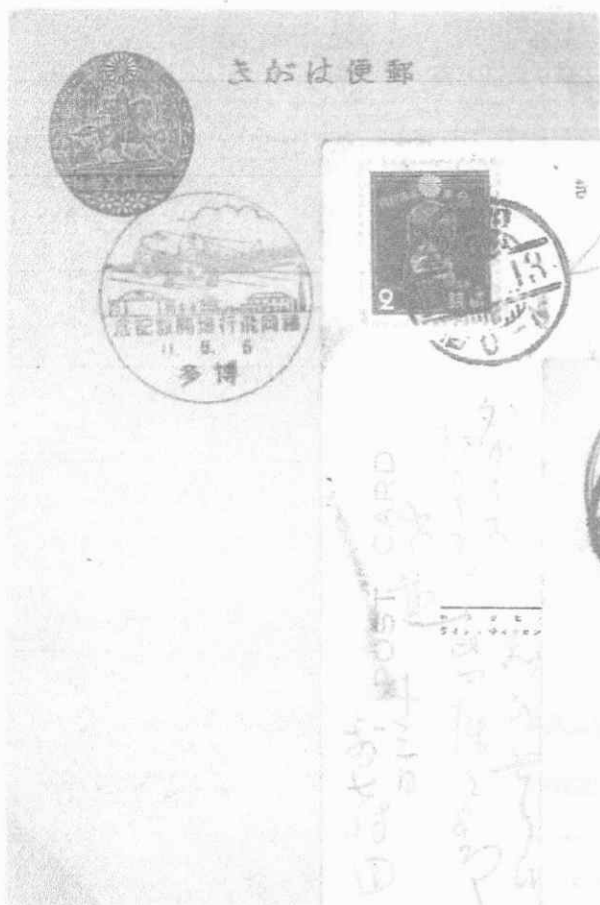


博多飛行場分室 (雁ノ巣)

昭和11年6月1日、粕屋郡和白町雁ノ巣に、民間飛行場として福岡飛行場が開港した。それまでは、三井郡太刀洗町にあつた軍用飛行場の一部を使用していたが、福岡市よりは遠隔だし、近郊に民間専用の飛行場設置の要望より開港された。

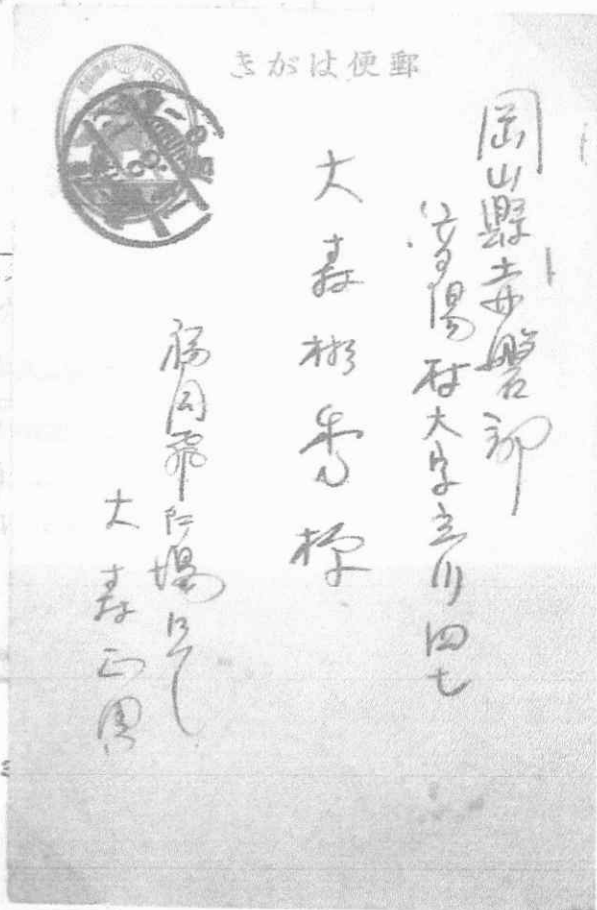
開港の同日、博多郵便局の博多太刀洗分室は福岡飛行場へ移転し、博多飛行場分室となる。昭和20年終戦により業務を停止していたが、昭和21年3月3日に廃止されている。



福岡飛行場開港記念
博多 11. 6. 5



博多<飛行場> 14. 8. 13

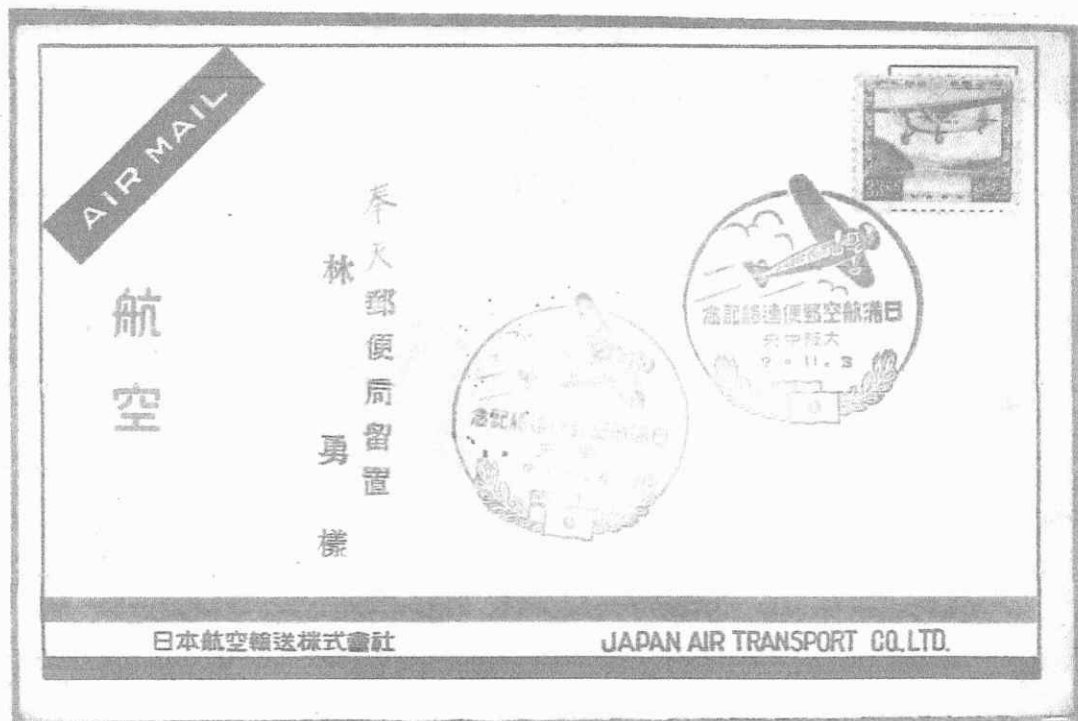


博多<飛行場> 14. 8. 12

日滿航空郵便連絡記念

大阪より奉天へ

第1種料金3銭+航空料30銭=33銭



大阪中央7、11、記念印 着印奉天7、11、4記念印